

# 平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.6 1

2010.9.6

発行：平和憲法・9条をまもる

岩手の会 事務局会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019 - 684 - 2225

FAX019 - 684 - 2227

## 原水爆禁止世界大会



### 「原水爆禁止世界大会・広島」に参加して

詳しい内容は分からないまま、「いつでも経験できるわけじゃない」と、仲間から後押しされ、参加してみようと思いました。世界大会には、のべ8,000人、遠く離れた北海道・東北からも多くの人に参加し、この大会への関心の強さに驚きました。

大会では様々な分科会が行われ、原爆の恐ろしさとともに、家族を失った哀しみや、被爆による様々な苦しみを、辛い体験をした当時を振り返りながら、戦争の悲惨さを聞くことができました。「家族を探し歩く最中、『水を下さい、助けて下さい』と、たくさんの負傷者に助けを求められた」「水も、食べ物もない。住んでいた家も焼かれ、生活もできない、生きるのがイヤになりそうな地獄のような日々を死に物狂いで生きてきた」など、語ってくれました。

しかし、65年たった今も安心して生活できる環境になっていないと被爆者は語ります。それは、被爆者に対する偏見があり、家系に被爆者がいるだけで、就職できない、結婚が破談になることもあると話していました。ある被爆者の方は「まだ終戦ではない」と言っていました。私は、地獄のような状況の中で、生きようとする人間の生々しい様子を、熱い口調で話していただいた被爆者の想いに鳥肌が立ち、身震いました。そして、悲惨な戦争の実態を知ってもらい、その上で戦争・核兵器をなくし、明るい安心な未来につなげていきたいとの思いを強くすることができました。

被爆者をはじめ多くの方達が「核廃絶運動に、定年はない」と言っていました。仕事で定年を迎えても、平和を求める運動に終わりがなく、署名なども時間がかかっても、コツコツと仲間の輪を広げていくことで、一歩ずつ前進していける事を実感することができました。（岩手県農協労組・新岩手支部 杉浦 健夫）



### 2010原水禁広島世界大会参加報告 ~被爆国がヒバクシャをつくっている?~

8月3日から6日にかけて原水禁世界大会に行ってきた。猛暑続きの今夏、広島も暑かった。でも65年前はもっと暑いどころか、「熱い」と感じる間もなく影だけになってしまった人もいたと思うと、こんな暑さなんか、と思ってもやっぱり暑い!

4日の折鶴平和行進。例年通り岩手は先頭を行進。その後、核兵器廃絶2010平和ヒロシマ大会へ参加。貞子さんの思いを世界に。

5日は分科会。アメリカにある日本の原子力発電のためのウラン採掘現場で、労働者と先住民がヒバクシャになっている。周辺は先住民族の居住区がほとんどであり、核廃棄物処分地も先住民の土地になることが多いためヒバクするらしい。日本人も加害者になっている現実を知る。

6日、いよいよ平和記念式典当日。国連事務総長や戦後65年で初めて米・英・仏の核保有国出席、という場所に同席できたことは感慨深い。ノーモアウォー、ノーモアヒロシマ、ノーモアヒバクシャ、世界を変えるのは今。（岩教組 佐藤 潔）



### 今月の署名行動

9月は9日(木) 12:00~12:45に「筒町アーケード入口」にて行います。是非参加ください!

# 北上「九条の会」宣伝行動&学習会

北上 9 条の会

北上「九条の会」(川島茂裕代表)は毎月9日に「9の日宣伝行動」をしています。8月は午前7時半から8時まで、交通車両の多い市内の国道4号線と国道107号線の交差点で高橋毅事務局長ら7人が参加し実施しました(写真)。

また8月27日に会員ら47名が参加し「憲法学習講演会」を開催。講演に先立ち、会世話人の阿部隆一さんが「憲法円卓会議(座長・中山太郎氏)が6月にスタートし、月1回のペースで会議を開催。メンバーは民主、自民、公明、みんなの党から出ている。近い将来、この4党が改憲案をまとめ、国会に提出してくる可能性がある。草の根からの運動を強めよう」と呼びかけました。講演は会代表の川島さんが「中国抗日战争の記憶と平和友好の誓い」と題して「菅首相までの歴代政府要人・天皇による中国や韓国への「談話・ことば」は、現憲法前文や9条の思想に基づいており、9条の意義はここにもある」「ソ連参戦で和平交渉が閉ざされ、昭和天皇をポツダム宣言受諾に向かわせたのは、原爆投下ではなく本土決戦の準備不足だったことが、受諾決定した御前会議の天皇の発言記録、出席者の保科善四郎氏の手記などから明らか」と述べました。講演終了後、参加者から活発な意見・質問が寄せられました。



(北上「九条の会」 阿部隆一)

## 「ピースin矢巾 夢・まつり」で反戦・平和を誓いあう

矢巾九条の会

矢巾九条の会は結成以来、毎年8月6日に「ピース in 矢巾 夢・まつり」を開催、町内400余名の戦没者に黙祷をささげ、あわせて親子で平和と環境問題を考える行事を行っています。

今年は、広島・長崎の被爆65周年と徳田小学校焼失65周年の節目に当たり、これを記念し徳田小学校の火災をテーマにした紙芝居と火災の際にピアノを引き出すなど、当時の関係者による座談会を企画。今年は町とJAが後援しました。

当日は、夕方とはいえ、昼の猛暑の暑さが残る中、60人を超える参加者が集まり、紙芝居を熱心に聞き、7人の体験話を興味深く聞きました。広場に夢・灯りがともされる中、参加者全員反戦・平和を誓い合いました。集いには紫波九条の会、盛岡、滝沢からも参加がありました。



(矢巾九条の会・下村)

## 「9条改正賛成」が多数に!?

参院選が終わり「消費税増税に一時ブレーキ」と思っていたとき、「9条改正 賛成が多数に」との報道に触れました。内容を見てみると当選者アンケートの中で「改憲を進めるべきだと思う」の当選者は60%、「思わない」は33%。政党別では自民党91%、みんなの党89%が「思う」であり、民主党63%、公明党44%が「思わない」となっています。この「思う」当選者は憲法改正案の発議に必要な3分の2に迫る割合で増えたとのこと。また、「9条改正への賛否」では「賛成」の当選者は48%、「反対」は42%。政党別では民主党76%、公明党67%が「反対」であり、自民党85%、みんなの党89%が「賛成」となっています。この「賛成」は急増とのこと。

以前このコラムで自主憲法制定などが声高に叫ばれていると書きました。「近代政治は政党政治」は政治学の指摘。今一度、各政党の方針、選挙公約などの「おさらい」が必要ではないでしょうか。(事務局)